

Ⅱ. キャンパスライフについて

1. 学業

(1) 学部・学科の満足度

問 10. あなたは入学した学部、学科などに満足していますか。

〔1〕現状

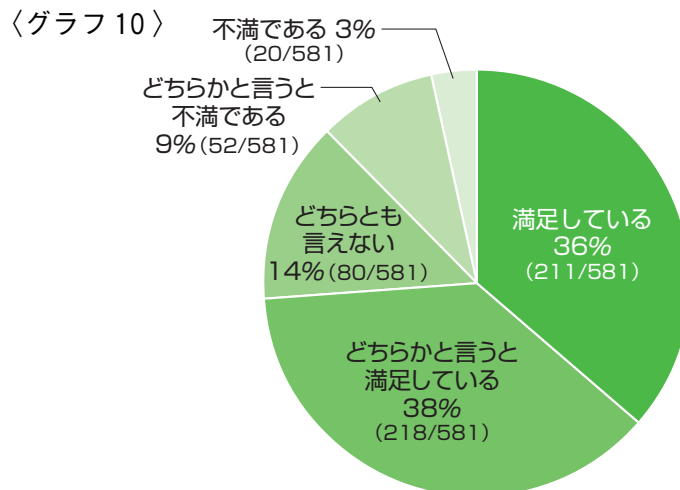
全体では「満足している」あるいは「どちらかと言うと満足している」という回答が74%を占めており、過去4年間の調査結果とはほぼ同じ値でした。「満足している」あるいは「どちらかと言うと満足している」と回答した割合が多いのは、医学部医学科（合計95%）、次いで、教育学部（合計81%）で、医学部看護学科（合計68%）、農学部（合計68%）、工学部（合計63%）においては平均値74%を下回っていました。一方、「不満である」あるいは「どちらかと言うと不満である」という回答は全体で約1割でした。

〔2〕課題（問題点）

今回のアンケートではどのような点に不満があるかは尋ねていないので、満足度の低かった学部・学科においては、学生から不満点及び問題点を把握し、学生の満足度が増すよう改善を試みる必要があります。

〔3〕対応

各学部等で学生の満足点、不満点及び要求などを詳細に把握し、さらにより良い大学になるようきめ細かい総合的な対策を講じる必要があります。



(2) 今後の希望

問11. 問10で「どちらかと言うと不満である」又は「不満である」と回答した人におたずねします。今後どのようにしようと考えていますか。次のうちから一つ選んで教えてください。

〔1〕現状

問10で「不満」あるいは「どちらかと言うと不満である」と回答した学生72名のうち、転学や再受験等を希望している学生は2割程度で、7割は「特にどうしようとは考えていない」との回答でした。学部間での違いは、母体数が少ないため、比較できませんでした。

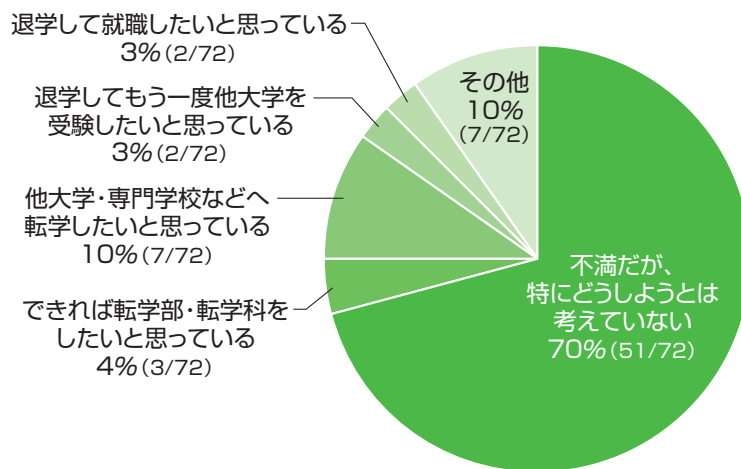
〔2〕課題（問題点）

不満があるが「特にどうしようとは考えていない」学生が7割近くおり、これらの学生が留年、退学あるいは不登校になりやすいと考えられるので、各学部において不満がある、あるいは勉学に興味を持たない学生を把握する必要があると言えます。

〔3〕対応

不満のある学生の7割は転学等を考えていないようなので、勉学に興味を持てるようクラス担任（アドバイザー）、研究室の教員が導いていくなどの対応が必要であると言えます。

〈グラフ11〉



(3) 1日の勉強時間

問12. 大学の授業以外に、あなたは1日平均何時間ぐらい勉強していますか。

[1] 現状

授業以外で、「ほとんどしない」と答えた学生が約3割であったのに対し、3時間以上と答えた学生は約2割となっています。「ほとんどしない」と答えた学生が少ないのは、医学部医学科14%、次いで、法学部26%、工学部28%となっています。1日3時間以上勉強すると答えた学生が、医学部医学科(合計47%)、法学部(合計35%)、農学部(合計23%)で多くみられました。

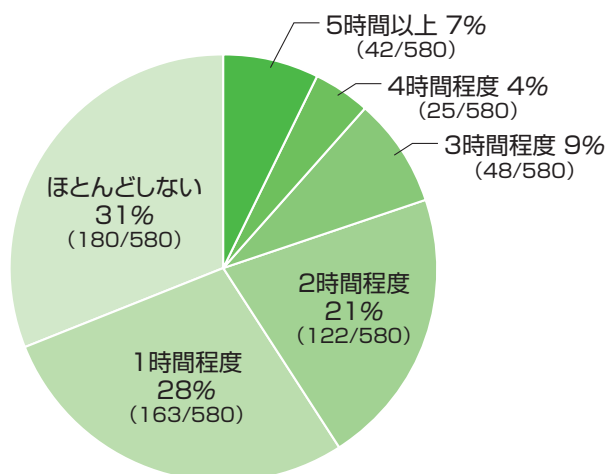
[2] 課題(問題点)

「ほとんどしない」と答えた学生は4年前の調査時(42%)より減少していますが、2年前の調査時とほぼ同じで、3割の学生が授業以外ではほとんど勉強をしていない状態となっています。一方で3時間以上勉強している学生が全体で2割おり、学部間で格差が生じていると推定されます。

[3] 対応

授業改善によって、自宅での復習、予習をさせるようにすることも大事ですが、将来の目標を持たせることが、自主勉強につながると考えられますので、1年生のうちから、キャリア教育を充実させることなどの対応が必要です。

〈グラフ12〉



(4) 教員との交流

問13. あなたは本学の教員との交流に満足していますか。

[1] 現状

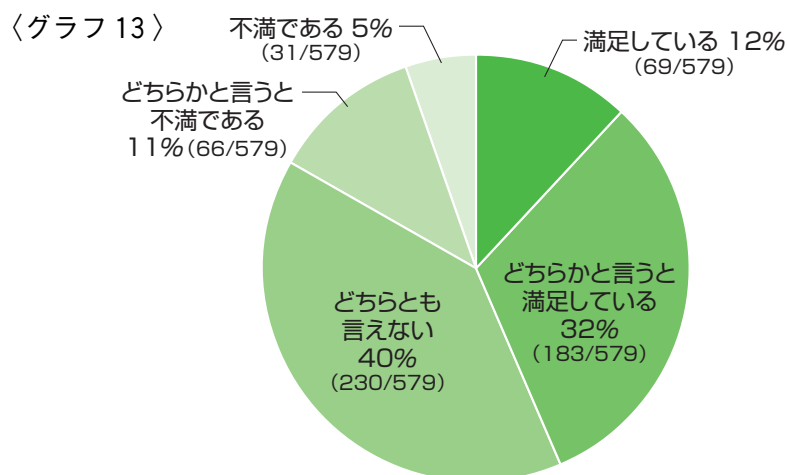
全学部において「満足している」あるいは「どちらかと言うと満足している」と回答した学生は合計で44%となっています。教員との交流において、満足度は学部間においてあまり差はありませんでした。「不満である」と答えた学生が法学部で若干多くなっています。

[2] 課題（問題点）

2年前及び4年前の調査において、「満足している」あるいは「どちらかと言うと満足している」と回答した学生は3割程度であったので、1割程度多くなっています。満足度は学年が進むにつれ増える傾向がありますが、今年度の回答者の各学年の割合は、以前の調査とほぼ同じですので、教員との交流において満足度が上昇していると考えられます。

[3] 対応

教員との交流が多くなるよう各部署で検討が必要です。



(5) 学生窓口（各学部の学務係等）の対応

問14. 学生窓口（各学部の学務係等）の対応に満足していますか。

〔1〕現状

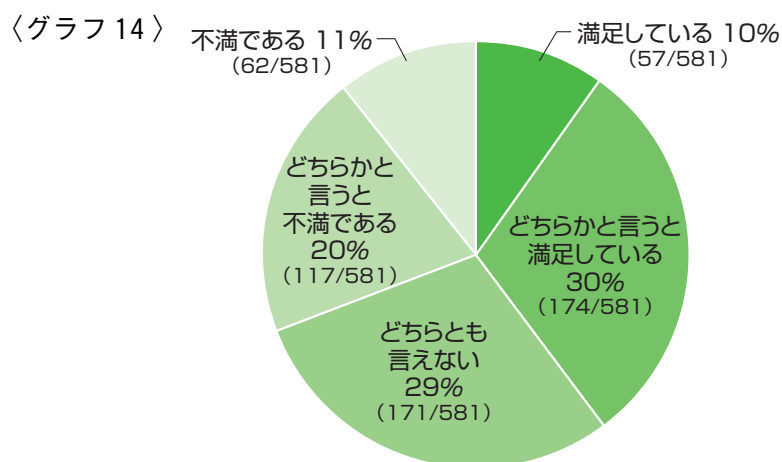
全学部において「満足している」あるいは「どちらかと言うと満足している」と回答した学生は4割で、2年前の調査とほぼ同じですが、「不満である」あるいは「どちらかと言うと不満である」と回答した割合は今回の調査において1割程度増加しています。また、医学部においては、「満足している」あるいは「どちらかと言うと満足している」と回答した学生が約7割を占めるのに対し、法学部、経済学部、農学部では3割程度で大きな差が見られます。

〔2〕課題（問題点）

医学部と他の学部において、学生窓口の対応の満足度に明らかな差がみられます。農学部では「不満である」あるいは「どちらかと言うと不満である」と回答した学生が5割を超えており、教育学部においては前回の調査より、「満足している」あるいは「どちらかと言うと満足している」と回答した学生が、約2割程度減少しています。

〔3〕対応

農学部では「不満」の割合が高いため、その原因を把握して、対応をとる必要があります。また、医学部において満足度が高い理由を調べることが、学生窓口の対応への改善へとつながると考えられます。



(6) 図書館の利用

問 15. 図書館をどの程度利用していますか。

[1] 現状

全体では「月に1～2日」38%が一番多く、次いで、「ほとんどない」28%、「週に1～3日」27%となっています。利用頻度は法学部、医学部医学科で多く、ここ2年程、法学部の利用頻度が増加しています。他の学部では特に変化は見られません。

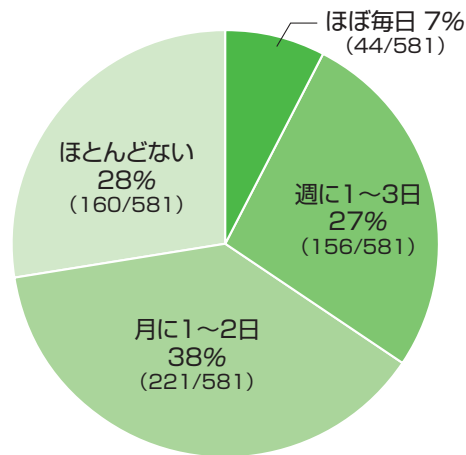
[2] 課題（問題点）

ほとんど図書館を利用しない学生が3割程度を占めるので、利用を促進する必要があります。

[3] 対応

図書館の利用を促進させる方法の検討が必要です。

〈グラフ 15〉



(7) 図書館の利用目的

問 16. 図書館の主たる利用目的を、次のうちから一つ選んで教えてください。

[1] 現状

全体での図書館の利用目的は「自習」が約半数を占め、次いで、「図書の借り出し、閲覧」となっています。「自習」の割合が多い学部は、法学部、経済学部、医学部医学科、工学部で、教育学部、医学部看護学科、農学部では「図書の借り出し、閲覧」が多くなっています。

[2] 課題（問題点）

医学部看護学科、農学部では「自習」の割合が2年前の調査より、10～15%減少しています。これは自習室が設置されたため、そちらを利用するようになったためなのか、その理由を把握する必要があります。

〈グラフ 16〉

